

🔥 施肥のポイント

野菜は種類によって必要とする肥料の量と時期が異なります。
野菜のタイプ別に施肥のやり方を変えると収穫量もずいぶん違います。



	作物名	基肥	追肥	回数	追肥時期
基肥が主体で追肥は控えめ	たまねぎ	3握り	1握り	3回	1回目：活着時 2回目：2月下旬から 3回目：2回目20日後
	じゃがいも	5握り	2握り	1回	芽かき後、株もとへの土寄せと同時に
	だいこん	3握り	1握り	2回	1回目：本葉3～4枚時 2回目：本葉5～6枚時
	かぶ（小～中）	3握り	1握り	2回	1回目：本葉3～4枚時 2回目：本葉5～6枚時
	にんじん	3握り	1握り	2回	1回目：2～3葉時 2回目：本葉5～6枚時
	とうもろこし	4握り	1握り	2回	1回目：草丈30～40cm頃 2回目：雄穂が見られた時
	キャベツ	3握り	1握り	2回	1回目：定植10日目 2回目：結球始め（定植30日目）
	ブロッコリー	5握り	1握り	3回	1回目：定植7日目 2回目：定植15日目 3回目：発蕾期
	はくさい	5握り	1握り	2回	1回目：定植10日目 2回目：結球始め（定植30日目）
	レタス	5握り	少量	数回	肥料切れすれば、必要に応じ少量行う（間引き後）
	小松菜、しろな	4握り	少量		
	ほうれんそう	4握り	少量		
	チンゲンサイ	4握り	少量		
	えだまめ	1握り	1握り	1回	1回目：開花初期
	えんどう	2握り	1握り	2回	1回目：草丈15cm頃 2回目：開花始め
	そらまめ	1握り	1握り	1回	春先に草丈20～30cm頃
	らっかせい	軽く1握り	1握り	0～1回	本葉が5葉期頃
	しゅんぎく	4握り	1握り	3回	1回目：最初の収穫後 2回目：1回目以降15～20日おき
	さといも	4握り	1握り	2回	土寄せ時に2回に分けて追肥
	さつまいも	軽く1握り	0	0回	通常、追肥はしない
	にんにく	4握り	1握り	2回	1回目：越冬前 2回目：春先
	いちご	2握り	1握り	1回	10月下旬～11月上旬
追肥回数を多くし 肥料切れをさせない	なす	5握り	1握り	5回	1番果収穫後から15～20日おき
	トマト・ミニトマト	2握り	軽く1握り	4回	各段の果実がピンポン玉になる頃毎に
	ピーマン・とうがらし	5握り	1握り	5回	開花盛期から15～20日おき
	きゅうり	3握り	1握り	5回	収穫始めから2週間おき
	いんげん（つるなし）	3握り	1握り	2回	1回目：開花始め 2回目：収穫始め
	オクラ	4握り	2握り	3回	1回目：草丈40～50cm頃 2回目：1回目以降15～20日おき
	ズッキーニ	2握り	2握り	3回	1回目：果実がつき始め 2回目以降20日後に土寄せ時同時に
中期から追肥 基肥を控えめ	しょうが	4握り	1握り	3回	1回目：草丈15cm頃 2回目：草丈40cm頃 3回目：2回目後30日頃
	しろねぎ	2握り	1握り	5回	1回目：定植15日目 2回目以降20日後に土寄せ時同時に
	スイカ	軽く1握り	1握り	2回	果実が卵大になる頃から15～20日おき
	露地メロン	2握り	1握り	2回	1回目：開花期 2回目：果実が卵大になる頃（1回目から2週間後）
	かぼちゃ	軽く1握り	1握り	1回	果実がこぶし大になる頃
	アスパラガス	4握り	2握り	1回	夏場の葉が茂る頃（収穫打ち切り直後）
	ごぼう	4握り	2握り	3回	1回目：本葉2枚時 2回目：本葉4～5枚時 3回目：草丈30cm頃

🔥 連作

野菜の中には、毎年同じ種類を同じ畑に作る（連作する）と生育が悪くなるものがありますから、作る野菜の順番を変えていく（輪作する）方が良いでしょう。

何年作っても連作障害のないもの	だいこん、にんじん、かぶ、たまねぎ、かぼちゃ、さつまいも
1年休む必要なもの	キャベツ、ほうれんそう、しゅんぎく、ねぎ、レタス、セロリ
2年休む必要なもの	きゅうり、いんげんまめ、はくさい、いちご
3年休む必要なもの	スイカ、メロン、そらまめ、さといも
4年休む必要なもの	トマト、なす、ごぼう、えんどう、じゃがいも、ピーマン



そのまま散布、
液肥にも！

サッと溶けて
使い方いろいろ

自然の恵みに感謝し、
自然の味・旬の味を楽しむ



N 15% ほごえ 葉肥

チッソ＝茎や葉を育てる

P 14% みごえ 実肥

リン酸＝花や実つきをよくする

K 10% ねごえ 根肥

カリ＝丈夫な根を育てる

野菜の達人

やさいの基肥にも追肥にも使用できる

ボトル

(1kg)



供給：



JAグループ



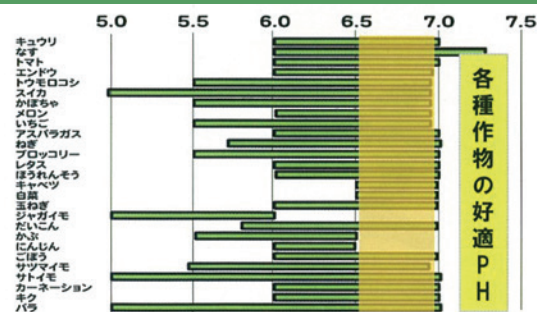
野菜の達人®のすぐれた特長!!

特長1 とにかく溶けやすい! (朝つゆ程度の水分でも簡単に溶けて吸収される)



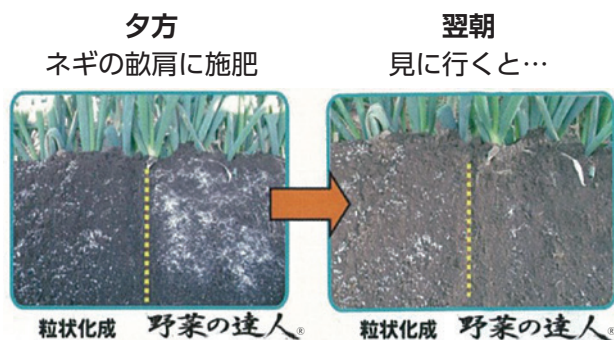
ポーラス状肥料なので表面積が大きく溶けやすい!

特長2 中性肥料なのでリン酸が吸収されやすい!



多くの作物は、中性付近の土壌を好む

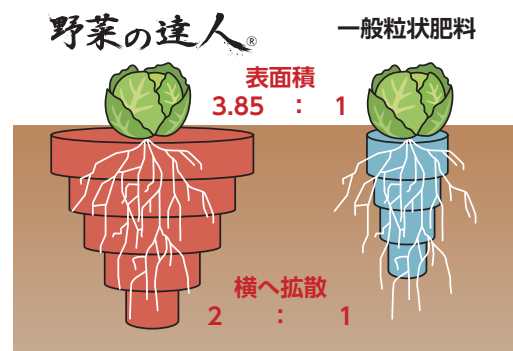
特長3 拡散・浸透性が高く、良く広がる! (午前中に施肥すれば、夕方にはすぐに拡散する)



- ◎夜つゆ程度の僅かな水分ですぐに溶ける
- ◎少雨(乾燥)の季節でも効果を発揮!

特長4 根の吸収部位まで肥料成分が広がる!

拡散・浸透性が高いため、根の先端部分まで良く広がります



②液肥での使い方

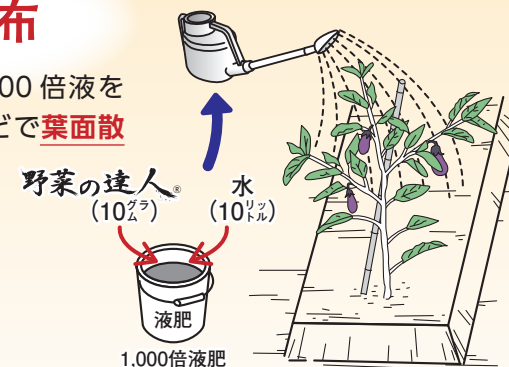
活着(根付け)肥

「野菜の達人」の500倍液にポット(セル)苗を浸漬してから定植すると活着が良くなり初期生育促進が期待できます。



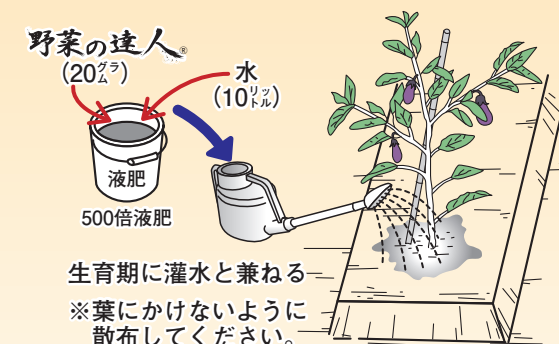
葉面散布

「野菜の達人」の1,000倍液をジョウロや噴霧器などで葉面散布します。



液肥施用(灌水を兼ねて)

「野菜の達人」の500倍液をジョウロなどで株元に散布します。



計量の目安

ボトル(1kg)の
キャップ1杯=約5g

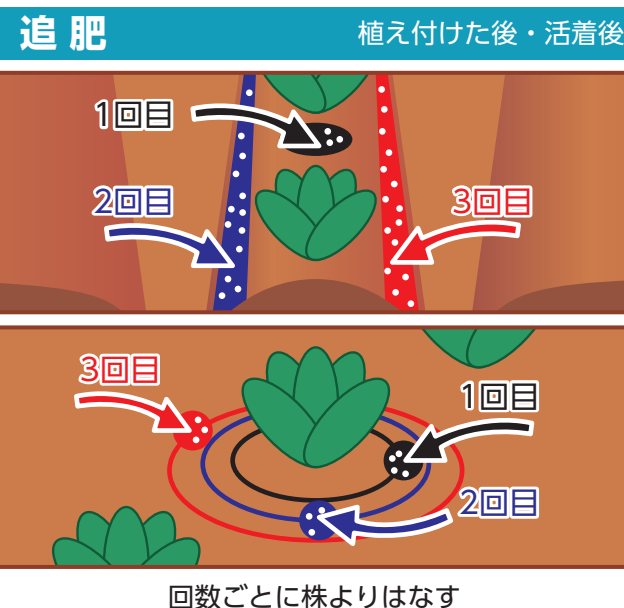
●希釈量の早見表

用途	濃度	水量						
		1リットル	3リットル	4リットル	5リットル	6リットル	8リットル	10リットル
活着(根付)肥	500倍液	1/2杯弱(2g)	1杯強(6g)	1.5杯(8g)	2杯(10g)	2.5杯(12g)	3杯強(16g)	4杯(20g)
灌水と兼ねて	500倍液	1/2杯弱(2g)	1杯強(6g)	1.5杯(8g)	2杯(10g)	2.5杯(12g)	3杯強(16g)	4杯(20g)
葉面散布	1,000倍液	1/5杯(1g)	2/3杯(3g)	1杯弱(4g)	1杯(5g)	1杯強(6g)	1.5杯(8g)	2杯(10g)

野菜に夕方葉面散布すれば翌朝には一目瞭然!!

使い方いろいろ

①一般的な使い方(肥料をそのまま散布)

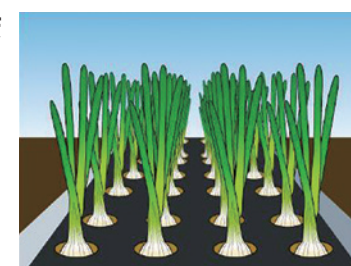


③こんな使い方も

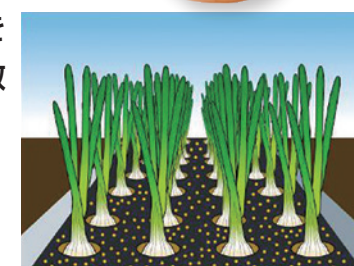
たまねぎの追肥もカンタン

マルチの上から撒いても大丈夫!!

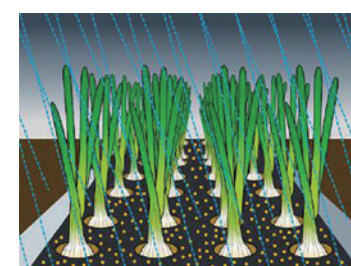
①マルチ栽培のたまねぎ



②「野菜の達人」をマルチの上から散布する



③施肥後の降雨ですばやく溶ける



④成分が根っこの周辺に拡がり、吸収される

